

# 教職員アンケートの結果と分析

専修大学教授(文学部, 大学院法学研究科)

野口 武悟

takenori@isc.senshu-u.ac.jp

## 1. 先行研究(西澤・植村・野口, 2016)から

### <司書教諭・学校司書は電子書籍をどう見ているか>

▶2015年8月~9月に, 全国の小・中・高等学校1081校に調査(327校が回答, 30.2%)

▶電子書籍を利用できるようにしたいか

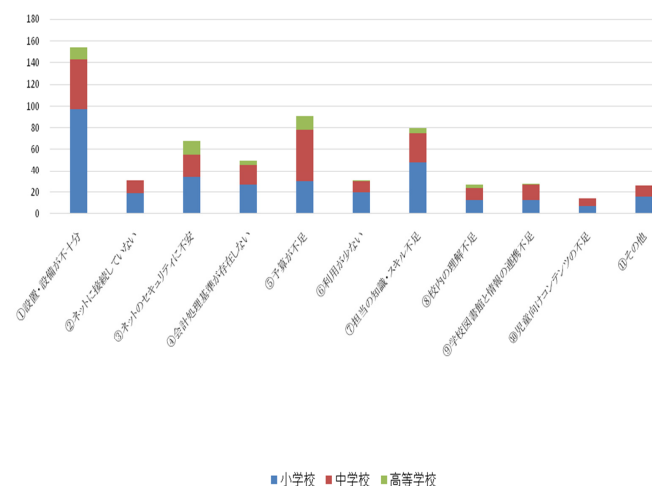
校種 (回答学校数)	小学校 (162)	中学校 (81)	高等学校 (34)	全体 (277)
思う (%)	75 (46.3)	35 (43.2)	16 (47.0)	126 (45.5)
思わない (%)	87 (53.7)	46 (56.8)	18 (53.0)	151 (54.5)

\* 利用したいと思う理由は, 「調べ学習での活用」がどの校種でも大きな割合を占めた

### ▶電子書籍の利用は「読書」に含まれるか

校種 (回答学校数)	小学校 (155)	中学校 (86)	高等学校 (43)	全体 (284)
思う (%)	103 (66.5)	68 (79.1)	33 (76.7)	204 (71.8)
思わない (%)	52 (33.5)	18 (20.9)	10 (23.3)	80 (28.2)

### ▶電子書籍導入にあたっての課題



## 2. 本調査の結果から

▶ 実証実験協力校の教職員63名に対してアンケート調査を実施

▶ 主な回答から

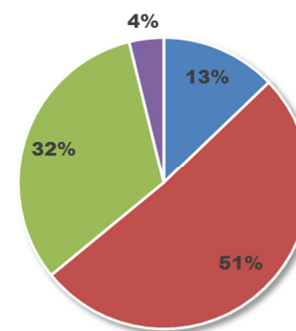
### (1) 電子書籍の利用経験 (本実験協力以前)

「読んだことがある」 33人 (52.4%)

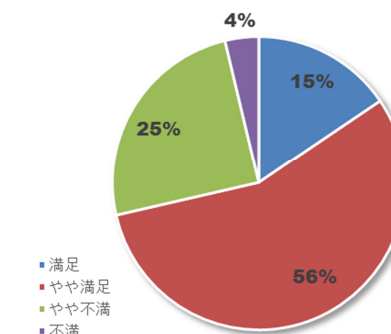
「読んだことがない」 29人 (46.0%)

「未回答」 1人 (1.6%)

### (2) クラウド型を利用しての感想

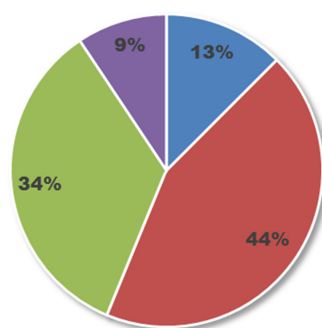


(a) 使いやすさ (n=31)

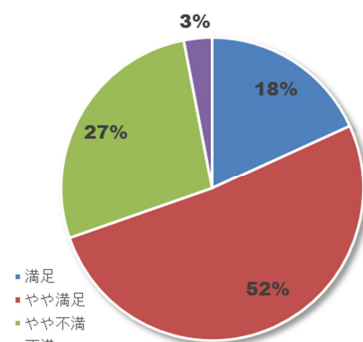


(b) 読みやすさ (n=31)

### (3) スタンドアロン型を利用しての感想



(a) 使いやすさ (n=33)



(b) 読みやすさ (n=33)

### (4) 学校図書館への電子書籍導入について

「導入してほしい」 45人 (71.4%)

「導入してほしくない」 13人 (20.6%)

「無回答」 5人 (7.9%)

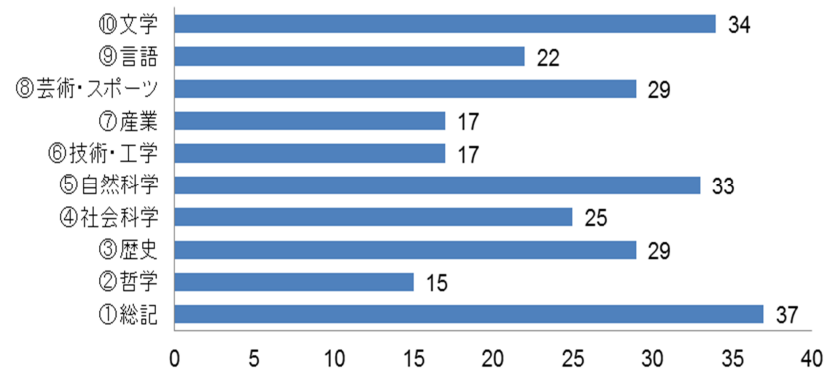
### (5) 電子書籍の活用方途 (複数回答)

「授業・学習活動」 30人 (47.6%)

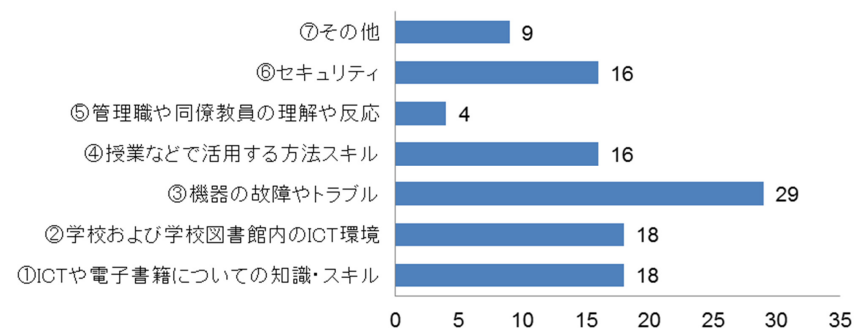
「読書活動」 45人 (71.4%)

「その他」 5人 (7.9%)

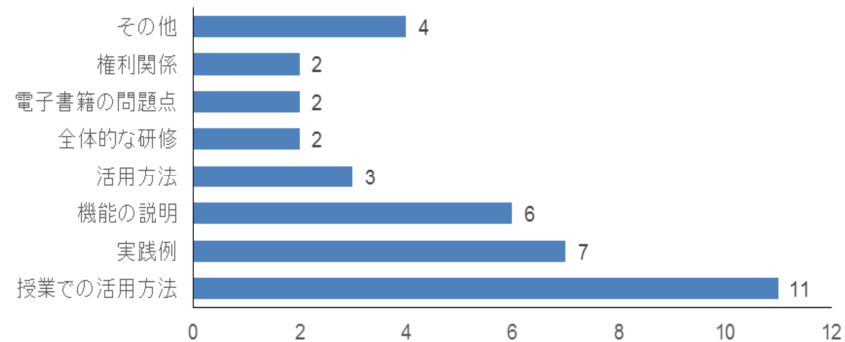
## (6) 電子書籍に求められるジャンル(複数回答)



## (7) 電子書籍利用にあたっての不安(複数回答)



## (8) 電子書籍利用にあたっての研修ニーズ(複数回答)



## 3. 研修カリキュラムの提案

- 電子書籍の活用を図っていくには、不安を解消でき、ニーズを充たすような内容で行われる研修が必要



- 研修カリキュラム案を作成
  - ▶全15回、1回当たり60分
  - ▶15回全ての受講を原則。ただし、7~12回を除くと1回完結型の内容なので、受講者の関心に応じて特定の回だけの受講も可能
  - ▶1講座の受講人数は10~15人程度
  - ▶現職の教職員(特に、司書教諭、学校司書)を想定

回	内容	形式
1	ICT 機器の最新動向 →今さら聞けない ICT の基礎を学ぶ	講義・演習
2	ICT コンテンツ・サービスの最新動向 →「小説家になろう」、SNS 等の動向と実際を学ぶ	講義・演習
3	電子書籍の理論 →電子書籍の仕組み、紙の書籍との違い等を学ぶ	講義
4	電子書籍の実際 →電子書籍の実際を利用しながら学ぶ	演習
5	電子書籍とデジタル教科書の関係	講義
6	学校図書館における ICT・電子書籍の位置づけと取扱い	講義
7~ 12	学校における ICT・電子書籍の活用法 →授業での活用と読書での活用の両面を事例から学び、実際にやってみる	講義・演習
13	ICT・電子書籍と知的財産権 →著作権等について学ぶ	講義
14	情報モラルの意義と指導	講義
15	まとめ：これからの学校図書館と電子書籍	シンポ

- 2017(平成29)年度に**実際に研修会を開催予定**  
▶詳細は近日公表予定。ご参加をお待ちしています

ご静聴ありがとうございました